

MeiSeiZei

名古屋青年税理士連盟会報

理事会で発言しよう!

みなさん、理事会に出ていますか?中には「そもそも、理事会って何なの?」という認識の会員さんもみえると思います。そこで、この紙面をお借りして私なりの理事会観を綴ってみたいと思います。名青税の規約を見てみると、名青税の目的である「会員相互の親睦」「税法、その他の研修」「税理士の発展並びに税理士の社会的地位の向上」を達成するために必要な事項を理事会において審議する旨の記述があります。簡単に言えば、名青税の活動は理事会で決めていきたいと思います。

現在、理事会の流れはおおよそ以下のようになっています。まず担当部長から、たたき台として協議議案が提出され、事業の目的や詳細について説明があります。そして理事の皆さんから質問や意見が出され、議案が具体的に固まっていきます。その後の理事会において、前回の協議をふまえて作成された審議議案が担当部長から提出され、再度質問や意見が交わされた後に、賛成か反対かという意思表示(決議)を行うこととなります。文章にしてしまうと、わりと簡潔な印象ですが、実際の理事会には、いろんなプロセスがあります。以下で、具体的に見ていきましょう。

「会して議せず、議して決せず、決して行わず、行って省みず、省みて変えず。」ダメな会議をうまく表した言葉にこんなものがありますが、これを名青税の理事会に当てはめてみるとどうでしょうか?

① 会して議せず

これは会議という名の下に集合こそしているが、積極的な発言が無く議論にならない状態を指します。「理事会なんて顔を出すだけで十分だ」「支部長は報告事項・連絡事項だけ確認できればいい」「あえて積極的に議論に加わるつもりはない」

こんな考えの人はいませんか?ただその場にいるだけなら、家でゆっくりとテレビでも見てた方が有意義な時間が過ごせるかもしれません。報告・連絡ならメールで回せばことは足ります。会議において、無口が美德になるようなことはありません。

私は、会議のもっとも重要なプロセスは「議する」ことだと思います。「議する」を別の言い方にすれば「みんなで意見を出し合うこと」です。みんなで意見を出すことの意義の一つは、より多くの意見を聴取することで民主的な会務運営が実現できるということです。名青税の活動は、密室ではなく、理事会というオープンな場で決定していかなければなりません。

しかし、もっと重要なことがあります。それは言い古された言葉ですが「三人寄れば文殊の知恵の知恵」です。理事会の参加者全員の50余名が積極的に議論し知恵を出し合えば、必ずや素晴らしい意見集約・プランができていくはず。理事会は名青税の叡智を集結させる場でもあるのです。

さらに、理事会で発言をすることによって、当事者意識や責任感を再認識することができると思います。たしかに、大勢の前で自分の意見を口にするのは、多少の勇気と慣れが必要かもしれませんが、名青税は仲間同士の集まりですので遠慮は要りません。才能を隠したままの人が居るのはもったいないと思います。新しい人材の訓練・成長の場としても理

事をうまく役立て欲しいと思います。

また、発言のしやすい雰囲気というもの、会議がうまくいくかどうかを左右します。沈黙が続かないように口火を切ってくれたり、気まずい雰囲気のとときに場を和ますような発言があったりすると、助かります。反対に、参加者が発言している最中に私語をしている人を時々見かけますが、これはいけません。発言に耳を傾けている人にとって雑音は迷惑ですし、発言者に対して失礼だと思います。よほど緊急かつ重要な話でなければ理事会終了までしばしお待ち下さい。

② 議して決せず

発言や意見は交わされるがまとまらず、結論が出ない状態です。会議は何らかの結論を出すために行うものですから、いつまでも「ああだ、こうだ」と言っても仕方ありません。こういうときに力を発揮するのが理事会の進行役である議長です。議長は、発言の趣旨を要約・整理して、議論をスムーズに進行させる役割を担っています。議論がかみ合わない、平行線をたどるときには、議長が議論の流れを読み、時には質問を投げかけたりしながら決議まで導いてゆくことになります。

③ 決して行わず

理事会で決定したことが準備不足や怠慢といった理由で行われなかったり、中途半端に終わるということがあってはいけません。理事会で決めたことは、全員で協力して取り組んでいきましょう。

④ 行って省みず

「やりっぱなし」にしないということです。イベントが無事に完了して「やれやれ、済んだ済んだ」で終わらせるのではなく「こうすればもっと良くなるんじゃないか」という検証を理事会の場でも忘れず行いたいですね。経験を次に生かすと言う意味で「省みる」ことは重要です。

⑤ 省みて変えず

ある先輩から「失敗できるのも青税だ」と声を掛けてもらったことがあります。私はこの言葉を「失敗したっていい、その失敗から学び成長してゆくことこそが青税らしさなんだ」という意味に受け取りました。「成長する」とは「変わる」ことです。皆さんの力で名青税を良い方向へ変えていきましょう!

最後になりますが、名青税の価値は理事会の質で決まるといっても過言ではありません。明日の名青税のために、皆さんぜひ理事会で積極的に発言して下さい。期待してます!

研究担当 副会長
安藤 雅康 (中村支部)



AUTUMN 2008
No. 187



CONTENTS

01—研究担当副会長挨拶
02—全国大会・定時総会

03—全国大会・懇親会
04・05—名青税/交流会・懇親会

06—INFORMATION

<http://www.meiseizei.gr.jp/>

2008 全青税 秋季シンポジウム in kyoto

今年の全青シンポは秋の京都。紅葉もいけれど制度部の応援もね。

日時：平成20年11月16日(土)
【受付】12:00～,【シンポジウム】12:50～16:35
【懇親会】17:00～19:00

場所：京都ホテルオークラ
【シンポジウム】4F 暁雲の間,【懇親会】3F 翠雲の間
〒604-8558 京都府中京区河原町御池
TEL075-211-5111 FAX075-254-2529
<http://www.kyotohotel.co.jp>

全体統一テーマ：
「来るべき税理士法改正へ向けての提言」

各単位会テーマ：
岐阜「補助税理士」
神奈川「税理士の使命」
千葉「試験制度と資質向上」
名古屋「税理士の存在意義と社会的地位」～自治権を中心として
東京「無償独占と規制改革」
埼玉「資格取得制度」
近畿「税理士の資質の維持向上」

名青税シンポジウム

開催日時が決定しました!

日時：平成21年1月24日(土)

場所：検討中

テーマ：
制度部「税理士法 ―自治権を中心として―」
研究部「新しい制度と事業承継 ―新信託法と自社株について―」
名古屋税理士会認定研修申請予定

理事会報告

第4回理事会

日時：平成20年7月15日

場所：名古屋都市センター

1. 研究部・制度部合同研修会の件
2. 会員親睦交流会の件
3. 新入会員歓迎会の件

第5回理事会

日時：平成20年8月8日

場所：名古屋都市センター

1. 会員大交流会&大懇親会の件
2. 新入会員歓迎会の件

第6回理事会

日時：平成20年9月18日

場所：名古屋都市センター

1. 名青税シンポジウムの件
2. 名青税シンポジウム・懇親会の件

「2009年全国大会・総会の開催地は名古屋に決定!」

2009年全国大会が地元名古屋で開催されることとなりました。

会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。来年に向けてみんなで盛り上げていきましょう!

編集後記

いやあ～大交流会晴れてよかったあ～。というのは、この広報誌で載せることができるイベントがさいたま大会と大交流会&大懇親会しかなく、もし大交流会が雨で延期になっていたらさいたま大会だけの広報誌になってしまっていた。そのため、何か企画を考えるべきか、締切を1月延ばすべきかなどいろいろと悩んでいたところ、部会で部員の皆さんに相談したら雨が降ったらさいたま大会だけの広報誌で行こうというものでした。そこで私も覚悟を決めて9月13日の天気が晴れること祈っていたら、当日は快晴。本当に助かったあ～という思いです。

今月で今年度の組織・広報部の仕事も半分が終了しました。今までは送られてきた様々な広報誌のページをただペラペラとめくっているだけでしたが、広報の仕事をするようになって初めてじっくりと見直すようになり、改めて伝える事の難しさを実感するようになりました。また、広報の仕事には、原稿を書いていた先生方、写真を撮っていただいた部員の方、校正をしていただいた印刷会社の方、本当にたくさんの人に支えられていることを知りました。本当に皆様に感謝しています。今年度の残り後半も全力でがんばっていきますのでご協力の程よろしくお願いたします。

横田 貴裕

名古屋青年税理士連盟

〒464-0067
名古屋市中千種区池下一丁目8-18 仲田ビル1F
<http://www.meiseizei.gr.jp/>

編集責任者／組織・広報担当副会長 田中聡一郎
発行所／名古屋青年税理士連盟 組織・広報部
印刷所／有限会社真清社